

〔派遣〕

派遣研究者 信州大学 工学部 機会システム工学科 助手 森 亮介

1062006

研究集会名 2006ロボット工学と自動化に関する国際会議

(2006 IEEE International Conference on Robotics and Automation / ICRA2006)

出張期間 平成18年5月14日 ~ 21日

開催場所 アメリカ合衆国 フロリダ州 オーランド

発表論文 ヒューマンスキルを実現する智能ロボットシステムの開発

- 単眼視覚を持つ移動ロボットによるボールリフティングタスクの実現 -

(Development of Intelligent Robot System Realizing Human Skill

- Realization of Ball Lifting Task Using s Mobile Robot with Monocular Vision System -

概 要

本会議は、IEEE主催のロボットに関する国際会議として最も権威が高く、今年度は、49ヶ国から1756件の論文投稿があり、最終的に680件が採択され、過去最低の38.7%の採択率という大変厳しいものであった。59件のポスター発表も含め、113のテクニカルセッション、3つのビデオセッション、および14のチュートリアル/ワークショップが5日間に亘って行われた。参加人数も1144人と規模も大きく、質の高い国際会議であった。

私の発表は、テクニカルセッションの初日に、コンピュータビジョンのセッションで行った。

人間の資格に関連した視覚を持つロボットの制御のセッションで、私の発表論文に最も適したセッションであったことと、スケジュールや同じセッションの発表者に恵まれたこともあってか、多数の聴衆が集まり、私の発表に興味をもたれた研究者から、質疑応答の時間が過ぎるほど多数の貴重な意見や質問をいただいた。

特に、人間の高度なスキルをどのようにしてロボットに実装するかについての議論においては、今後の研究を進める上で非常に重要な智能ロボット開発に関する大変貴重な意見をいただき大いに参考になった。

セッション以外にも、多くの研究者と議論をする機会があり、大変有意義であった。